

令和7年度 本牧和田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

令和6年3月時点での人口は約20,500人となっており、うち高齢者（65歳以上）人口は約4,800人、高齢化率は23.34%と、中区全体（23.63%）とほぼ同水準である一方、年少人口（～14歳）は12.89%で中区全体（9.38%）に比べ高くなっています。こうした傾向は集合住宅の開発等により、新たなコミュニティが形成され、若い世代の住民層が増えたことが要因と考えられます。高齢化の進展と同時に将来を担う子ども世代の増加も予測され、こうした地域コミュニティの変化に対し、高齢者、子育て、障害者支援等、課題解決に向け、あらゆる切り口から柔軟な取り組みが必要であると考えます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	【相談・支援】 地域の身近な相談窓口であることを地域に出向き発信します。発信にあたってはSNSなども活用していきます。対象を問わず相談対応を行い、関係機関にスムーズにつなげます。関係機関に関する情報を積極的に収集して、相談時等につなげていきます。
☒	☐	【住民主体の地域づくりの推進体制の構築】 第5期地域福祉保健計画策定に向けて地域懇談会開催をサポートしていきます。連合町内会を中心に地区社協、民児協などと連携していきます。区、区社協と協力して地域支援に努めます。
☐	☒	【地域ケアプラザの場を生かした支援】 ケアプラザ祭りを今年度も開催して、ケアプラザからの発信、地域からの発信と住民同士が交流できる機会を設けます。国際交流ラウンジ等と連携し、多文化に触れる機会を設けます。区内・エリア内にある障害者施設を身近に感じる機会を設けます。
☒	☐	【認知症支援事業】 昨年度結成した、「チームオレンジぼんちゃん」が中心となりチームオレンジを推進していきます。地域の小学校での認知症サポーター養成講座を継続して行います。エリア内全ての小学校で開催することを目指していきます。介護者のつらい「カフェ☆はれやか」を隔月で行い、介護者の介護負担の軽減を図れる場としていきます。
☐	☒	【在宅医療・介護連携推進事業】 個別ケース相談等を通じて在宅医療について情報提供を行います。ケアプラザ協力医による個別相談を定期的に行い、地域の方が健康に関するよろず相談をできる場としていきます。自主事業等を通じて、もしも手帳、ACPIについて発信していきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

地域の身近な相談窓口として、ケアプラザの周知をSNS、広報紙、地域活動参加を通じて行っています。相談に関しては、対象を問わず、すべての相談を一度受け止めて対応しています。また、自宅、地域、町内会館などケアプラザ以外でも相談対応しています。

第5期中区地域福祉保健計画策定に向けて、区役所、区社協と連携して懇談会の開催をサポートしました。本牧・根岸地区では、「高齢」「障害」「子ども」それぞれの分野で地域の方と関係機関・団体と地区懇談会を実施しました。

昨年度結成した「チームオレンジぼんちゃん」が主体となり、本牧間門小学校4年生を対象に、認知症キッズサポーター養成講座を実施しました。今年度から開始されたチームオレンジについても地域向けに周知を行っています。チームオレンジの一環で、誰でも参加できる手芸サロンを立ち上げました。

今年度もぼんちゃん祭り（ケアプラザ祭り）を開催しました。民生委員、子育てネットワーク、町内会等多くの方々にご協力をいただき、多くの地域の方が参加され、多世代交流の機会となりました。

☐ 区からのコメント

多世代が交流する「ぼんちゃん祭り」の盛況や、小学校での認知症講座など、地域に開かれた活気ある取組を数多く展開していただきました。また、第5期中区地域福祉保健計画の策定にあたり、分野ごとの懇談会を通じて様々な住民の声を丁寧に取り上げていただいたことは、地域の新たな活力を生み出すプロセスになったのではないかと思います。

地域コミュニティが変化しつつある中で、住民同士がお互いに支え合えるよう、今後も社会資源の活用や担い手へのサポート・育成を進めていただけたらと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

令和7年度本牧和田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	・年1回以上、全職員対象に公正・中立に関する研修を行います。 ・サービス事業者等の紹介に当たっては、特定の事業者等に偏らず、利用者のニーズに添って複数事業の紹介を行います。	・年1回以上、全職員対象に事故防止・個人情報保護に関する研修を行います。 ・業務マニュアルの定期的な見直しを行い、再発防止に取り組みます。
実績	・全職員対象に公正・中立に関する研修を行った。 ・サービス事業者等の紹介に当たっては、特定の事業者等に偏らず、利用者のニーズに添って複数事業の紹介を行った。	・全職員対象に事故防止・個人情報保護に関する研修を行った。 ・業務マニュアルの見直しを行い、再発防止に取り組んだ。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が介護予防についての目的や目標を理解し、その目標達成のために必要なサービスや手段を活用して、目標達成に取り組めるような計画を作成し実行することができる。	介護認定を受けた利用者が、可能な限り在宅で自立した日常生活をおくるため、必要なサービスを適切に利用できるよう、利用者および家族の選択に基づいた計画を作成し、実行できる。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	主任ケアマネジャー(管理者兼務) 1名 社会福祉士 1名 看護師 1名	主任介護支援専門員(管理者兼務)1名 主任介護支援専門員3名
契約者数	97名	108名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の意思を尊重し、個別性に配慮した計画を作成し、自立した日常生活(要介護状態の予防、軽減または悪化の防止)を営むことができるよう支援します。		
実施体制	【実施日数】 週6日 【提供時間】 9:30～16:30 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 食事代850円(おやつ代100円含む)	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者1名・生活相談員3名 介護職員19名 (相談員兼務・運転手兼務含む) 看護師兼機能訓練指導員4名		
契約者数等	【延べ利用者数】 7,150名 【契約者数】87名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

**令和 7 年度「横浜市本牧和田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,533,611	0	17,533,611	18,835,006	△ 1,301,395	横浜市より
内 受領額	17,533,611		17,533,611	19,658,781	△ 2,125,170	
内 戻入額				△ 823,775	823,775	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	45,000		45,000		45,000	
雑入	61,120	0	61,120	30,700	30,420	
内 印刷代	10,000		10,000	5,580	4,420	
内 自動販売機手数料	21,120		21,120	21,120	0	
内 その他	30,000		30,000	4,000	26,000	
その他	3,587,500		3,587,500		3,587,500	
収入合計	21,227,231	0	21,227,231	18,865,706	2,361,525	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,830,000	0	10,830,000	10,474,803	355,197	
内 本俸	9,481,000		9,481,000	9,456,682	24,318	
内 社会保険料	1,185,000		1,185,000	872,433	312,567	
内 手当計			0		0	
内 健康診断費	47,000		47,000	19,663	27,337	
内 勤労者福祉共済掛金			0		0	
内 退職給付引当金繰入額	112,000		112,000	112,425	△ 425	
内 その他	5,000		5,000	13,600	△ 8,600	
事務費	1,442,120	0	1,442,120	1,432,766	9,354	
内 旅費	6,000		6,000	2,626	3,374	
内 消耗品費			0	104,274	△ 104,274	
内 会議随い費	36,000		36,000	28,004	7,996	
内 印刷製本費			0		0	
内 通信費	202,000		202,000	187,136	14,864	
内 使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	21,120	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	21,120	0	
内 その他			0		0	
内 備品購入費			0		0	
内 図書購入費			0		0	
内 施設賠償責任保険			0	10,335	△ 10,335	
内 職員等研修費			0	54	△ 54	
内 振込手数料			0	1,320	△ 1,320	
内 リース料	96,000		96,000		96,000	
内 手数料			0		0	
内 地域協力費			0		0	
内 公租公課	1,063,000	0	1,063,000	852,815	210,185	
内 事業所税			0		0	
内 消費税	1,063,000		1,063,000	852,815	210,185	
内 印紙税			0		0	
内 その他			0		0	
内 その他	18,000		18,000	225,082	△ 207,082	広報費、諸会費、保守料、委託料
事業費	409,000	0	409,000	84,185	324,815	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	409,000		409,000		409,000	
内 その他			0	84,185	△ 84,185	
管理費	3,117,000	0	3,117,000	3,056,524	60,476	
内 光熱水費	2,134,000		2,134,000	2,059,676	74,324	
内 清掃費	219,000		219,000	220,451	△ 1,451	床、窓ガラス、排水管、カーペット、トイレ清掃
内 機械整備費	88,000		88,000	87,596	404	
内 設備保全費	591,000	0	591,000	565,946	25,054	
内 空調衛生設備保守	7,000		7,000	97,815	△ 90,815	
内 消防設備保守	54,000		54,000	55,964	△ 1,964	
内 電気設備保守	366,000		366,000	131,394	234,606	電気設備、昇降機、自動ドア、GHP
内 害虫駆除清掃保守	55,000		55,000	55,477	△ 477	
内 駐車場設備保全費			0		0	
内 その他保全費	109,000		109,000	225,296	△ 116,296	システム保守等
内 共益費	85,000		85,000		85,000	一般廃棄物処理、植栽剪定
内 その他			0	122,855	△ 122,855	
修繕費	316,000		316,000	2,188,395	△ 1,872,395	予算：指定額
太陽光パネル保守点検	17,000		17,000	38,500	△ 21,500	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	741,000	0	741,000	1,590,533	△ 849,533	
内 サービス区分繰入支出	741,000		741,000	1,590,533	△ 849,533	
支出合計	16,872,120	0	16,872,120	18,865,706	△ 1,993,586	
差引	4,355,111	0	4,355,111	0	4,355,111	

自主事業費 収入	45,000	0	45,000	0	45,000	
自主事業費 支出	409,000	0	409,000	0	409,000	
自主事業 収支	△ 364,000	0	△ 364,000	0	△ 364,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和 7年度「横浜市本牧和田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞**

収入の部		25899671				
科目		補正額 (B)		決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,047,726	954,000	26,001,726	25,869,871	132,055	横浜市より
受領額	25,047,726	954,000	26,001,726	26,001,726	0	
戻入額				△ 132,055	132,055	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000	30,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,033,137	0	6,033,137	5,243,479	789,658	横浜市より
受領額	6,033,137		6,033,137	6,390,137	△ 357,000	
戻入額				△ 1,146,658	1,146,658	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	10,200	△ 10,200	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0	10,200	△ 10,200	
その他	5,352,000		5,352,000	2,287,728	3,064,272	サービス区分間繰入収入
収入合計	36,616,863	954,000	37,570,863	33,595,078	3,975,785	

支出の部		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費		30,175,000	0	30,175,000	26,975,163	3,199,837	
内訳							
本俸	25,402,000			25,402,000	23,143,657	2,258,343	
社会保険料	4,322,000			4,322,000	3,430,768	891,232	
手当計				0		0	
健康診断費	45,000			45,000	22,607	22,393	
勤労者福祉共済掛金				0		0	
退職給付引当金繰入額	406,000			406,000	360,331	45,669	
その他				0	17,800	△ 17,800	
事務費		2,605,000	0	2,605,000	2,827,538	△ 222,538	
内訳							
旅費				0	13,779	△ 13,779	
消耗品費	103,000			103,000	654,456	△ 551,456	消耗品、事務用品
会議随い費				0		0	
印刷製本費				0	1,886	△ 1,886	
通信費	447,000			447,000	261,761	185,239	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）				0		0	
その他				0		0	
備品購入費				0		0	
図書購入費				0		0	
施設賠償責任保険	3,000			3,000	19,363	△ 16,363	
職員等研修費				0	5,947	△ 5,947	
振込手数料				0		0	
リース料	105,000			105,000		105,000	
手数料				0		0	
地域協力費				0		0	
公租公課	1,891,000	0	1,891,000	1,509,553	381,447		
事業所税				0		0	
内 消費税	1,891,000		1,891,000	1,509,553	381,447		
内 印紙税				0		0	
その他				0		0	
その他	56,000			56,000	360,793	△ 304,793	広報誌、市社協会費
事業費		616,000	0	616,000	685,423	△ 69,423	
内訳							
協力医	420,000			420,000	504,000	△ 84,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	154,000			154,000		154,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】				0	154,000	△ 154,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	0			0	10,574	△ 10,574	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	42,000			42,000		42,000	
その他				0	16,849	△ 16,849	
管理費		1,070,000	0	1,070,000	812,484	257,516	
内訳							
光熱水費	604,000			604,000	547,508	56,492	
清掃費	58,000			58,000	58,597	△ 597	床、窓ガラス、排水管、カーテン
機械警備費	26,000			26,000	23,284	2,716	
設備保全費	360,000	0	360,000	150,438	209,562		
空調衛生設備保守	2,000		2,000	26,001	△ 24,001		
消防設備保守	16,000		16,000	14,876	1,124		
内 電気設備保守	108,000		108,000	34,926	73,074		電気設備、昇降機、自動ドア
害虫駆除清掃保守	15,000		15,000	14,747	253		
駐車場設備保全費				0		0	
その他保全費	219,000		219,000	59,888	159,112		システム保守等
共益費	22,000		22,000		22,000		一般廃棄物処理、植栽剪定
その他				0	32,657	△ 32,657	
修繕費		84,000	0	84,000	119,945	△ 35,945	予算：指定額
その他	968,000	0	968,000	2,174,525	△ 1,206,525		
サービス区分間繰入支出	968,000		968,000	2,174,525	△ 1,206,525		
支出合計	35,518,000	0	35,518,000	33,595,078	1,922,922		
差引	1,098,863	954,000	2,052,863	0	2,052,863		

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	196,000	0	196,000	164,574	31,426	
自主事業 収支	△ 196,000	0	△ 196,000	△ 164,574	△ 31,426	

管理許可・目的外使用許可に	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による
管理許可・目的外使用許可に	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による
管理許可・目的外使用許可に	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和 7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名: 横浜市本牧和田地域ケアプラザ

令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収 入	介護保険収入	4,346	4,232	114	6,330	6,804	-474	23,066	23,818	-752	79,450	75,141	4,309	3,706	3,503	203
	その他	0	0	0	0	0	0	196	1,987	-1,791	6,449	9,580	-3,131	0	515	-515
	事業・負担金収入			0			0			0	6,218		6,218		515	-515
	受託事業収入			0			0	196	332	-136			0			0
	受入研修費収入			0			0			0	20		20			0
	利用者等外給食費収入			0			0			0	210	154	56			0
	拠点区分間繰入収入			0			0			0		3,182	-3,182			0
	サービス区分間繰入収入			0			0			0		3,765	-3,765			0
	その他			0			0		1,655	-1,655	1	2,479	-2,478			0
	収入合計(A)	4,346	4,232	114	6,330	6,804	-474	23,262	25,805	-2,543	85,899	84,721	1,178	3,706	4,018	-312
支 出	人件費			0			0	20,826	22,762	-1,936	56,911	55,141	1,770			0
	事務費			0			0	494	749	-255	3,763	4,552	-789			0
	事業費			0			0		12	-12	6,874	6,437	437			0
	管理費			0			0	306	4	302	11,881	13,777	-1,896			0
	その他	4,412	3,143	1,269	3,114	4,897	-1,783	0	0	0	11,918	8,991	2,927	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0	146	886	-740			0
	介護予防プラン委託料	4,412	3,143	1,269	3,114	4,897	-1,783			0			0			0
	利用者等外給食費支出			0			0			0	210	154	56			0
	固定資産取得支出			0			0			0	2,213	735	1,478			0
	拠点区分間繰入支出			0			0			0		4,827	-4,827			0
	サービス区分間繰入支出			0			0			0		2,287	-2,287			0
	その他			0			0			0	9,349	102	9,247			0
	支出合計(B)	4,412	3,143	1,269	3,114	4,897	-1,783	21,626	23,527	-1,901	91,347	88,898	2,449	0	0	0
収支 (A) - (B)		-66	1,089	-1,155	3,216	1,907	1,309	1,636	2,278	-642	-5,448	-4,177	-1,271	3,706	4,018	-312

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 4：子ども・青少年 7：その他
2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 7：共催（1と2と3）		2：障害児・者 5：地域 6：事業者
		3：養育者及び乳幼児

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	認知症予防 学習・交流サロン「なごみ」	H22	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音読、計算等を行う学習時間と参加者同士の交流を通して在宅で暮らす高齢者の認知症及びその他の認知機能障害を予防する。定期的な外出機会と交流の場の提供により、地域での孤立・閉じこもり生活を予防する。	1:高齢者	5:地域	音読・計算等を行う学習プログラム・参加者同士の歓談やレクリエーションによる交流・情報交換・健康な生活を送るための情報提供	12	0	157	0
2	子育てサロン	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の親子が集える場の提供をすることで、地域の養育者や子ども同士の交流を促進する。参加者同士の情報交換、育児イベント等の情報提供を通し、養育者の孤立を予防する。	4:子ども・青少年	3:養育者及び乳幼児	子育て中の親子で集えるサロン形式で実施。主任児童委員、民生委員児童委員と連携して運営する。 通年:毎月第3木曜日	16	0	226	0
3	Wa！サロンDa	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	子どもから高齢者まで世代関係なく、誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指す。またボランティア等の活動等を支援する。	5:地域	6:事業者	5職種共催で行う、「誰もが立ち寄れるサロン」として開催。地域で活動する団体等をゲストとして招き、講話等を行うこともある。 通年:毎月第3水曜日 13:30から15:00	12	0	211	0
4	「ほんもくセセラセラ」と楽しく歌いましょう！	H30	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽や運動を通じた身体活性や仲間づくりを目的としている。	5:地域		唱歌や懐メロをみんなで歌ったり、脳トレと運動を組み合わせた「コグニサイズ」を行う	8	0	86	0
5	味噌づくり講座	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	味噌づくり体験を通じた参加者同士の地域交流や、食の学びを目的とする。	5:地域		講師の指導のもと味噌づくり体験を行う	1	0	26	0
6	ボランティア活動支援	H20	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域でボランティア活動をする人、また活動したい人を支援する。また受け入れ団体と結び付けることで、地域づくりに繋げる	5:地域		新規ボランティアの募集と登録。受入希望団体等のリスト作成。受入先とのコーディネート	5	0	5	0
7	本牧中学校「ボランティアの会」活動支援	H23	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中学生がボランティア活動を通じて、地域で誰もがその人らしく生活できるよう支え合っていくことの大切さを学ぶ機会作り、また自分たちが出来ることを実践する機会を提供する。	4:子ども・青少年		本牧中学校ボランティアの会への参加ボランティア活動への参加の呼びかけボランティア活動の場の調整と提供。活動時の支援等。	2	0	18	0
8	中学校・高等学校実習受け入れ(福祉体験学習)(職業体験学習)	H21	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	福祉施設での職業体験を通して、誰もがその人らしく生活できるよう支え合っていくことの大切さを知る。自身で支援出来ることを見つけて実践しようとする気持ちを育てる。福祉施設を利用しようとする人の思いや願を理解する。	4:子ども・青少年		施設見学、事業内容概要説明のオリエンテーション。車椅子体験やデイスサービスでの話し相手等の福祉体験学習を実施する。	0	0	0	0
9	世代間交流会	H18	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	世代を越えた交流を通じ、地域で支え合い、挨拶や見守り等をし合える関係が構築できる。	1:高齢者	4:子ども・青少年	小学校と地域の高齢者とスポーツを通じた交流会(ニュースポーツ、モルック、ポッチャ等)を実施。今年度は間門小6年生と地域の方との「ゆるスポ」交流	1	0	55	0
10	広報紙「本牧和田地域ケアプラザ通信」ホームページ	H18	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域福祉・保健関連の情報や地域ケアプラザの事業、ボランティアや地域団体の活動等を地域住民に情報発信し、地域福祉活動への参加促進につながることを目的としている。	5:地域		地域の活動や健康づくり、仲間づくり等の情報、地域ケアプラザの事業や地域団体の活動等を掲載する。自主事業の予定をカレンダー形式で情報提供する。町内会自治会への配布、圏域内の小中学校や障害者福祉施設、介護保険事業所等への配布をしている。	5	0	5	0
11	介護者のつどい「カフェはれやか」	H26	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者の介護者を対象に、日ごろの介護疲れを癒し、また同じ悩みや経験を持つ介護者同士で交流すること、在宅介護の継続、一人で抱え込まない介護を目指す。	1:高齢者	5:地域	偶数月の第4金曜に実施。介護者が在宅介護についての悩み等を話し合い、情報交換を行う。介護者が精神的にリラックスできるような講座の実施を予定。	6	0	5	0
12	認知症サポーター養成講座	H25	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすために、地域住民等に向けて認知症の正しい知識と対応方法を理解してもらう。	5:地域	6:事業者	①地域のキャラバンメイトと協力し養成講座を実施。②地域の団体等や小中学校に向けて、講座開催の案内をする。③サポーター養成講座を修了した人が活動する場の提供。	1	0	104	0
13	地域ケア会議	H26	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	住み慣れた地域で安心して暮らすことができるような仕組みを作るため、地域ネットワークの構築強化。	1:高齢者	5:地域	①個別レベル会議を通じて地域課題を把握する。(年2階程度)②包括レベル会議で地域課題を地域住民や多職種で検討する。(年1階程度)	2	0	49	0
14	しめ縄づくり	R3	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	友人同士や親子で参加される方もいるが、同じテーブルに居合わせた参加者同士での共同作業を通じた交流。ケアプラザの周知、また歴史講話を含めることによる男性の方の参加に期待も込めている。	1:高齢者	5:地域	八聖殿郷土資料館との共催事業 ①しめ縄作り ②本牧の歴史講話	1	0	24	0
15	歴史講座	R6	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	ケアプラザまで通う事が困難な地域の町内会館で開催。 ・高齢者が外出を通じて、他者とのコミュニケーションを取ることで、社会的孤立を防ぎ生きがいを持つことができる。	1:高齢者	5:地域	ダイアバレス三溪園第二見守り会・八聖殿郷土資料館共催 協力:元町南部町内会	0	0	0	0
16	ちかこ先生と遊ぶ	R6	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援事業。子育て中の親子が集える場の提供をすることで、地域の養育者や子ども同士の交流を促進する。	4:子ども・青少年	3:養育者及び乳幼児	1.5歳以上の未就園児とその保護者が対象。 育て支援」を目的とした事業。 通年:奇数月の第1木曜日	5	0	84	0
17	本牧元町南部町 ラジオ体操	R6	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	・集合住宅の高齢者の方々の外出のきっかけとする。 ・他者とのコミュニケーションをとるとともに、見守りへと繋がる。 ・フレイル予防。	1:高齢者	5:地域	主催:ダイアバレス三溪園第二見守り会 協力:本牧元町南部町内会	2	0	20	0

■ 事業

1：地域活動交流事業2：地域包括支援センター運営事業

3：生活支援体制整備事業4：共催（1と2）5：共催（1と3）

6：共催（2と3）7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

1：優先的に取り組みが求められる事業

2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

1：高齢者2：障害児・者3：養育者及び乳幼児

4：子ども・青少年5：地域6：事業者

7：その他

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施 回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
18	おしゃべり手芸サロン	R7	3:生活支援 体制整備事 業	1:優先的に 取り組み	・高齢者の方々の外出のきっかけとする。 ・趣味を通じた交流の機会を創出させる。 ・サークル化はせず、認知症の方も含め 誰でも参加可能なサロンとし、ケアプラザ へ気軽に立ち寄る機会を増やしていただ く。	1:高齢者	5:地域	お茶を飲みながら、簡単な手芸に取り組 みつつ、おしゃべりを楽しむ時間としてい ただく。12月は試験的に実施し、定期実施 を目指す。	3	0	45	0